



えんだより



6月の予定

- 1日(水) 図書館訪問(ば)
- 15日(水) お誕生会
- 16日(木) 歯科健診
- 17日(金) 防災訓練
- 21日(火) ひよこ健診
- 22日(水) はみがき教室
- 27日(月) プール開き
- 6/6 ~ 6/10 身体測定週間

《久々のバス遠足》

新宿保育園長
狩野 貢

先月24日(火)に「こあら組、きりん組、ばんだ組」で久しぶりのバス2台での遠足(アクアパーク品川)に行ってきました。軽く見学した後イルカショーへ。イルカの中に口先の違う仲間がいました。何とクジラでした。同じように芸をするので大変驚きです。初めて見たような気がします。残念なのは同じ頃にオットセイ、ペンギンのショーがあり移動が大変なため見ることは出来ませんでした。

適当な広場がない為一旦バスに戻りお弁当です。とにかくバスでのお弁当の為落としたり悲惨なことになります。それでも買いに走ることはなかったようで無事に済ませることが出来ました。

再度水族館へ。今度はゆっくりと回ることが出来ました。それでもこあら組さんにとっては水槽の位置が高すぎ、見るのが大変でした。驚いた事はばんだ組さんがこあら組さんを抱き上げ見るのを助けていたことです。異年齢チームに分かれていた為、各所で目にしました。こうしてお兄さんお姉さんとしての自覚が生まれ次へと引き継がれるのだと思い、大変うれしくなった一日でした。

さてコロナですが厚生省より人との距離が2m以上確保できる場合はマスクの着用を一律に求めませんとのお知らせが来ました。保健所に濃厚接触者の定義を確認したところ今迄通りということです。陽性者が出てマスクをしていなければ今まで通りクラス閉鎖、休園等の処置をとらざるを得ません。お散歩等を除く屋内では今しばらくマスク着用で行くべきと判断しました。またサル痘なるものも出てきました。予防接種は1974年度生まれが最後の世代だそうです。感染症が収まることはないかも知れません。これからもご協力の程よろしくお願い申し上げます。

「SDGs」とは？

～お子さんと一緒にできることから～

最近よく聞く言葉です。日本語に訳すと「持続可能な開発目標」という意味になり、世界共通目標として「17の目標」があり、今の日常の「当たり前」を見直し、地球温暖化や環境破壊、豊かな人と恵まれない人の格差の拡大などが悪化しないためにも自然を慈しみ、大量の生産・消費・廃棄の暮らしの見直しを目標としています。

今回は、子どもと一緒に取り組める「水」についてです。暑くなりお水に触れる機会も増えます。大好きな水遊びがもうすぐ始まります。お子さんと一緒に取り組んでみてはいかがでしょうか。

- ・水は生活に欠かせない存在
- ・水を大切に使う

「もったいない」が協調されすぎると、必要な場面での水の消費を節約する事になりかねません。無駄使いしないことと使わないことは全く意味が違います。安全面、衛生面に気を付けながら、「使っていない時は止める」など子どももできる正しい使い方を伝えていきましょう。

おねがい

お休みや登園時間の変更等の連絡を朝8:30までにお願ひしております。保育時間中は、担任へお繋ぎできない場合もあります。担任と直接お話をご希望の方は、午睡時間の13:15~15:00頃の時間帯をお願いします。

ご理解の程、ご協力よろしくお願ひいたします。

『給食室より』

管理栄養士 菊本みづほ

★食育月間

6月は食育月間です。農林水産省だけではなく、内閣府・文科省・厚生省・消費者庁といった関係省庁や地方公共団体等と協力しての食育強化月間です。食育を推進する理由は、食育が「生きるうえでの基本」であり、「知育・徳育・体育の基礎となるもの」として重要視されているからです。葛飾区健康部健康づくり課よりの「やさいを食べよう」のリーフレット(保護者向け)と、子ども達への「野菜クイズ」をえんだよりと一緒に配布します(幼児クラス対象)。ご家庭で役立ててください。乳児クラスで希望の方は担任又は栄養士に声を掛けてください。

★苦手な食材について

偏食の原因の一つに「感覚の過敏さ」があります。「舌触りや歯ざわりの触感に違和感がある」「特定の匂いが苦手」「見た目からどのようなものか想像がつかない」「温度に敏感で痛みを感じる」等、単純な好き嫌いとは異なる耐え難い不快な感覚を抱きます。この様な感覚の過敏さがある上にあまり多くの食事量を必要としない少食のお子さんとなると食事場面は『苦難の場』となりがちです。様々な工夫をしても食べてくれないと親も悩み、親にとっても食卓が苦難の場となりがちです。食べる事に苦痛を伴う食材にはなかなか手が出ません。大人であってもその様な食材は出来れば避けたいと思うものです。ただ、家庭ではどれだけ工夫しても食べてもらえなかった食材でも園の給食ではお友達につられて食べるといった事もよくあります。外の環境の影響を受ける事も考慮して、例えば、毎日頑張るのではなく週に一回位(食事が嫌にならない程度に)食卓に出し挑戦してみる等、「食べてくれたらラッキー」位の気持ちで苦手食材に挑戦してみたいとは思いませんか。特定の苦手な食べ物を食べさせる事(苦手克服)を目標として頑張りすぎず、好きな食べ物を増やしてあげて食事時間を楽しんで欲しいと思います。

保健だより

岡林菜央

道端の紫陽花も咲き始め、6月がやってきました。今年も昨年に引き続きマスクを装着した状態での夏となりそうです。大人も子どもも熱中症に注意して過ごしましょう。

<熱中症>

子どもは大人に比べ体温調節機能が未発達であることや、体内の水分が多く外気温の影響を受けやすいこと、地面からの照り返しをより短距離で受け止めることから熱中症になりやすいとされています。

左の5つの症状は熱中症の代表的な症状です。さらに進行すると意識消失やけいれんを引き起こします。軽い症状の段階で気づいて、塩分・糖분을補給し涼しいところで体を冷やし重症化を防ぐことが大切です。熱中症予防の為に、日頃からこまめな水分摂取を心がけましょう。また通気性の良い素材や薄い色の衣服を選択することで熱がこもりにくくなります。自分で不調を訴えることが子どもには難しいため常日頃から注意して観察をしましょう。

- ・頭痛
- ・軽いめまい
- ・多量の発汗
- ・筋肉痛のような手足の痛み
- ・不自然なあくび